

# 小山内ゼミ 前期活動報告

2F 石丸鈴菜

研究対象 YouTube、YouTuber について

## (1) 研究動機

元々はテレビが大好きだったのですが、いつからかスマートフォンを手にしてから YouTube を簡単に見ることが出来るようになり、パソコンを使うようになってからは毎日 YouTube ばかり見ていることに気付き、YouTube の魅力とは何だろう？と疑問に思ったからです。

また、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が流行して外出が制限されるようになってから、YouTube の需要はさらに高まって来たと思います。音楽ライブ配信等も YouTube が使われることが増え、今後のエンターテインメントには欠かせないものになると思ったので、今回の研究対象に選びました。

## (2) 研究する前に予想していた答え

「YouTuber が人気の理由」「人気の YouTuber のジャンル」に興味を持ったので主にその2つについてなのですが、

YouTuber が人気の理由については、テレビでは出来ないことをやっているから、自分では出来ないことに挑戦しているから等を予想していました。

人気の YouTuber のジャンルについては、個人的にも好きで、周りにも好きな人が多いゲーム実況が一番人気だと予想を立てました。

## (3) 調査方法、手段

今回はインターネットのサイトや、Twitter 等の個人の呟きが見られるものを活用しました。

## (4) 調査結果

まずは

### ① YouTube について

です。そもそも YouTube とは何なのか。会社についても少し触れていきたいと思います。

設立は 2005 年 2 月。約 15 年前ですね。

本社はアメリカ合衆国にあります。創業者はスティーブ・チェン、チャド・ハーリー、ジョード・カリムの 3 人。ユーザー数は 10 億人以上。対応言語はなんと 76 言語。(世界では 3000~7000 の言語が使用されているので、それに比べたら数ないのでしょうか)

か?) Google LLC が提供する動画共有サービスです。

次に、YouTube についてというページをご紹介します。なかなか見ることは無いものだと思うのでここで紹介したいと思います。

<https://www.youtube.com/intl/ja/about/>

このような YouTube About というページがあります。ここに YouTube の使命や価値観などが書いてあります。下に行くと YouTube のサービス、ビジネス向け、クリエイター向けについてなどコンテンツを制作する上での役立つ戦略について書かれていたりします。

ちなみに、YouTube 関係で求人を少し調べてみたところ、YouTube チャンネルディレクターという募集がありましたが、社名も年収も非公開のものがありました。ちょっと怪しいなと思ってしまいました (笑)

さて次に、

## ② YouTuber について

です。YouTuber と言われると、テレビでは良く警察沙汰を起こしたり、炎上したというニュースが大きく取り上げられるので個人的にはあまり良いイメージがありません。そんな YouTuber だけではないはず! と思わずは YouTuber とは何なのかを調べてみました。

まず、YouTuber とは。動画投稿サイト「YouTube」へ自作の動画を投稿する人を指します。2007 年 5 月に YouTube が閲覧数の多いユーザーに「YouTube パートナープログラム」への参加を勧誘したことが始まりとされているそうです。当時は商業コンテンツ供給者だけに勧められたものでした。2011 年にはパートナープログラムを一般ユーザーにも解放するようになりましたが、参加には条件があるようです。

日本の小学生「なりたい職業ランキング」によると、2016 年にはランキング外だったものが、2017 年には 4 位、2018 年には 3 位にランクインしており、子供にも人気の職業となっています。イギリスでも 3 人に 1 人の子供の憧れの職業となっているようです。また、韓国の就職情報サイトでも成年者の 63% が YouTuber に挑戦する意向を示しているようです。

次に、日本と海外で人気の YouTuber について調べてみました。

人気の条件は、登録者数を参考にしています。(influencer のサイトより)

<https://jp.noxinfluencer.com/youtube-channel-rank/top-100-all-all-youtuber-sorted-by-subs-weekly>

1 位 キッズライン♡Kids Line

2 位 はじめしゃちょー

3 位 HikakinTV

4 位 せんももあいしーCh

5 位 Fischer's フィッシャーズ

日本ではこのような人たちが人気のようです。

次は海外のランキングです。

1 位 T-Series (インド)

2 位 PewDiePie (アメリカ)

3 位 Cocomelon-Nursery Rhymes (アメリカ)

4 位 SET india (インド)

5 位 5-Minute Crafts (アメリカ)

アメリカとインドが TOP 5 を占めていますね。

日本の 1 位の登録者数が 1190 万人であるのに対して、海外の 1 位は 1.52 億人も登録者がいることに驚きました。圧倒的に多くの人に見られている事が分かりました。

(ちなみにインドの人口は 13.53 億人、アメリカの人口は 3.272 億人)

人気の YouTuber を調べてみましたが、様々な人がいました。

そこで次は、YouTuber のジャンルについて見ていきたいと思います。

<https://unknownvideo.info/?p=871>

#### 1. Vlog(ビデオログ)

日々の日常を動画で記録し、公開しているものです。

男性より可愛いくて若い女性の方が再生回数やチャンネル登録者の伸びが良かったりします。

#### 2. バラエティ系

トーク、コント、実験系、体を張る系、など様々なサブジャンルがあります。10 代から 20 代の視聴者によく見られており、再生回数も回りがやすく人気のジャンルです。

#### 3. 商品紹介・レビュー系

コンビニで買えるものから高価なカメラ機材まで、紹介する商品は多岐に渡ります。以前は、誰でも気軽にできるジャンルでもあったことから、多くの人が商品紹介を初めていました。

#### 4. ハウツー

生活に役立つ情報を公開しているジャンルです。調べるより動画で見た方が分かりやすいというニーズに応えてくれるのがこのジャンルです。

## 5. 教育

英会話をはじめとして、数学や社会、日常的な一般常識まで様々なことを学べるチャンネルが増えてきています。中にはプロの方が科目に合わせて動画を公開している例もあります。

## 6. ゲーム実況

幅広い世代から大きな人気があるのがこのジャンルです。人気の YouTuber がサブチャンネルを開設するケースや、芸能人がゲーム実況を行うケースも増えてきています。

## 7. ミュージック

プロミュージシャンによる音楽 PV が億単位の再生回数を得るなどしていますが、その一方でアマチュアの方が自分の作曲した曲を公開したり、有名な曲のカバーを公開する場でもあります。

## 8. メイク・ファッション

単に普通にメイクをするだけでなく、100 均で買ったメイク道具だけでメイクをしたり、映画のキャラクターのコスプレ風メイクなど工夫を凝らした動画も多く見受けられます。

## 9. 料理

料理動画は昔から人気のあるジャンルですが、最近ではひたすら海鮮系の料理を紹介したり、ダイエット向けレシピを紹介するチャンネルなど、個性的なチャンネルが増えてきています。

## 10. 漫画系

ここ数年で一気に増えたジャンルです。アニメではないのですが、漫画に声優の声をつけてアニメっぽくしたもので、数分で見れる短時間の動画が主流です。個人で運営されているチャンネルは少ないようです。

## 11. VTuber 系

VTuber とは、バーチャル YouTuber の略で、美少女キャラクターや仮想のキャラクターをメインに構成された動画のジャンルです。基本的に 3DCG のキャラクターが登場して人間のように動くのですが、声は実際の人間が入れていることが多いです。

## 12. 大食い

一般人の方が大食い系の動画を投稿しているというよりは、もともとテレビの大食い企画に出演していたり、芸人だった方が YouTuber に転身しているケースが多いようです。

## 13. アウトドア

近年のアウトドアブームに合わせて、アウトドア系の YouTuber も急激に増えていきます。最近では女性が 1 人で行くソロキャンプ動画も人気が出てきているよう

です。

#### 14. ペット

昔から根強い人気のあるのがペットのジャンルです。ペット動画は言葉に壁がないので、一度話題になれば世界中で見られることもありますので、爆発的に再生回数を稼ぐチャンスを秘めています。

#### 15. 衝撃動画

交通事故の映像や、決定的瞬間を抑えた映像というのはシェアされやすく、爆発的に再生回数を伸ばすことができます。しかしこのような映像をコンスタントにアップすることは大変難しく、個人でこのジャンルに特化したチャンネルを運営することは難しいでしょう。

#### 16. 乗り物（車・電車）

車好きや電車好きな人たちが運営する YouTube チャンネルも数多く存在しており、内容はレビューだったり、車掲載動画だったり様々です。

#### 17. トレンド

世間で話題になっていることに的を絞って動画を投稿するジャンルであり、基本的にはお金儲けの為にやられているチャンネルがほとんどです。

#### 18. パチンコ

このジャンルは一定した人気があるようで、実際にパチンコ店でプレイする動画や、新台の攻略動画が人気です。

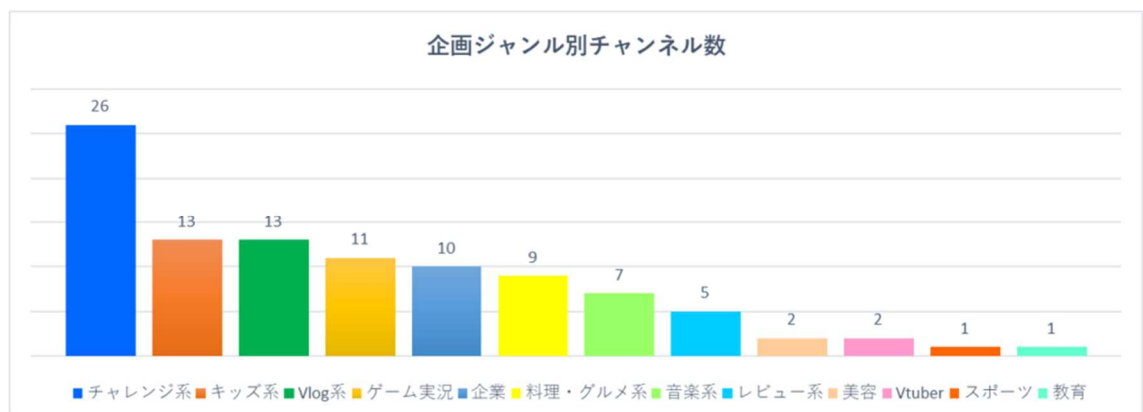
#### 19. 政治・ニュース

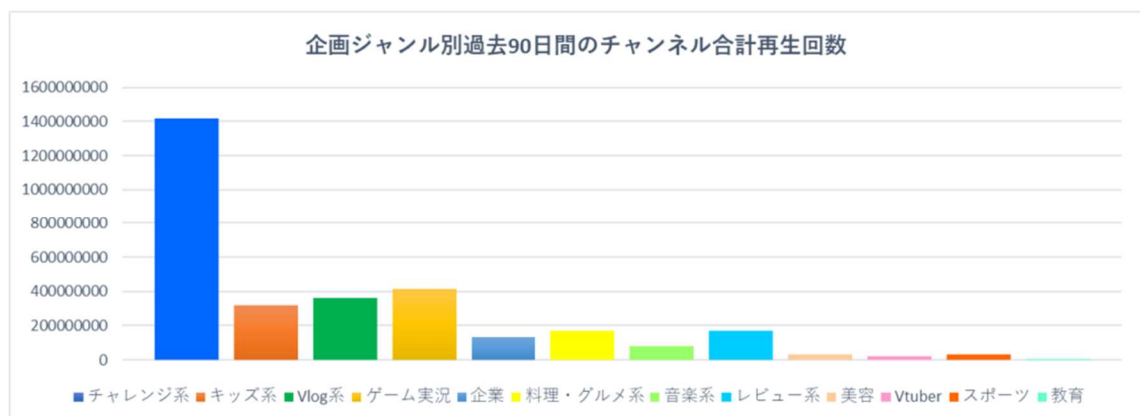
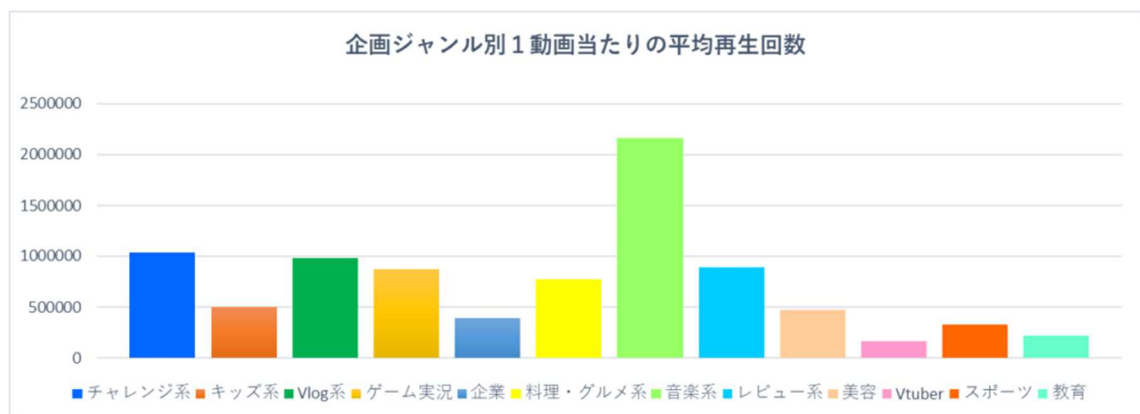
ネット上には政治問題に対して関心の高いユーザーは多く存在していますので、それなりの需要もあるようです。

主にこんな感じのジャンルに分類できるようです。

思ったより多くのジャンルがあって驚きました。おすすめ欄にあまり出てこないジャンルは知らなかったのでもって勉強になりました。

ジャンル別の人気度はこちらです。こちらは、再生回数をもとにしています。





<https://reports.buzzcast.bz/2019/01/08/topyoutuber-contentscategory/>

飛び抜けて音楽ジャンルの再生回数が多いです。次いでチャレンジ系や Vlog 系、レビュー系、ゲーム実況の再生回数が多くなっています。

次はユーチューバーが人気の理由についてです。

これは1番気になっていたことであり、動画の再生回数にも大きく関わっていると思うので、これから動画投稿する人も今動画が伸び悩んでいる人も必見だと思います。「視聴習慣」、「愛着」という観点から考えていきます。

日常生活に「日課」として入り込んでくるのは「10分」という短さと、「毎日投稿」という特性によるものだそうです。「楽しみで」「期待しながら」というよりは、日々の習慣の延長で、半ば無意識に見ているそうなのです。

現在チャンネル登録者数ランキングで上位にいる、いわゆる「トップ YouTuber」たちはその多くが毎日投稿をしています。少なくとも週に3~4本の動画をアップしています。

しかし、無意識に見てしまうだけでは「ハマっている」とは言えません。YouTuber をチャンネル登録視聴者が、彼らに好意的な感情、何らかの「愛着」のようなものを抱

いているのは確かです。ポジティブな要素があるからこそ視聴者は惹かれるのでしょう。

10 代前半の中高生の男女から人気のある YouTuber の人気の秘訣は「友達であるかのような感覚抱かせる」事にあります。「変なことを思いついて等身大でやってみる」という性質は上位にいる YouTuber グループの多くに受け継がれています。

ここ数年は、TikTok など、若者に人気の SNS でも同様に、友人同士で楽しく騒いでいるだけの馴れ合い動画が高く評価されやすいのです。現在インターネットを介して多くの 10 代、20 代が求めているのは、『価値のある情報や感情を揺さぶるエピソードよりも、教室の拡張空間として提供されるローカリーな幸福』と言えます。

この市場で求められているのは、面白さ以上に「安心感」「友人感覚」なのです。

YouTuber とその事業が、既存のメディアの構造に囚われない、新しいエンタメの構造、消費者の形、そして空間を生み出しています。

<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/68436?page=6>

#### (5) 分析・考察

「YouTuber が人気な理由」は当初予想していたものも間違っただけではなかったが、もっと生活の一部になっていることが重要であることが分かりました。

「人気な YouTuber のジャンル」は、海外と日本で多少の違いはあったものの、子供向けやチャレンジ系が人気であることが分かりました。しかし、予想していたゲーム実況は思っていたより低い順位でしたが、同年代には人気なことが分かりました。

YouTube はこれからもっと一般的で、より多角的な広がりを見せていくと思います。そして音楽の発信などももっと YouTube が使われていくと思います。さらに YouTuber が一般的な職業として世間に認知される日も遠くはないでしょう。もっと詳しく知る必要があるなと思いました。

#### (6) まとめ

今回 YouTube、YouTuber について調べてみて面白かったです。知らないことが多かったのも、このような機会を設けられて良かったです。普段偏ったジャンルしか見ないので、オススメにも似たようなものしか出てこないのですが、思ったよりたくさんのジャンルがあることも知りました。今では友人と YouTuber 関連の話題が上がったりするので、もっともっと自分からたくさんの物を見ていく必要があると感じました。取捨選択できるのが YouTube の良いところだと思いますが、他について全く触れる機会がなくなっていることを改めて感じたので、今後エンタメに関わっていく以上、自分から触れていこうと思います。

#### (7) 今後について

今後は実際 YouTuber の方にコンタクトを取り、質問をしてみたいと思います。また、これはできるか分かりませんが、YouTube に興味のある友人と一緒にチャンネル開設や企画などを立ち上げられたら良いなと思います。